

平成 17 年 12 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社 ヤ マ シ ナ
代 表 者 名 取締役社長 谷川 満
(コード番号 5955 大証第 2 部)
問 合 せ 先 専務取締役 藤崎 修
T E L (0 7 5) - 5 9 1 - 2 1 3 1

三井物産株式会社の子会社の株式譲受に関するお知らせ

平成 17 年 12 月 7 日開催の当社臨時取締役会におきまして三井物産株式会社の子会社である三陽工業株式会社の株式全部を譲受するに当たり本日株式譲渡契約を締結致しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

記

1. 株式譲受の事由

現在三井物産株式会社がその株式の 80%を所有する三陽工業株式会社は 3 年前の大幅な合理化実施後業績は堅調な回復基調となっており、また三井物産株式会社の選択と集中の方針を受け、本件の申出となったものであり、当社とのシナジー効果も充分期待でき、三陽工業株式会社の株式の譲受を決定したものです。

2. 三陽工業株式会社の事業内容

- 産業機器用・通信用・輸送用・音響機器用等の電線・ケーブルの製造・販売ならびに各種ケーブルの端末加工を主要事業とする会社であり、NTT グループ、ソニー、松下電工、ビクター、パナソニック、本多通信工業等の優良企業を顧客としております。
- 三陽工業株式会社はもともと NTT グループ に対する通信用電線の納入によって事業基盤を確立し蓄積した技術力を武器に音響機器電線等に事業を拡大していましたが、1990 年代以降、電線・ケーブル製造の汎用化、電話機製造の海外シフト、単価下落等により、売上高を大幅に減少させました。
- 現在は、NTT 向けや LAN 用ケーブル等の通信用電線を一定程度は製造しつつも同社の有する取引先の機能説明書に基づく技術開発力の強みを武器に、その収益の中心を産業機器用・輸送用電線製造や端末加工にシフトしており売上構成比としては、通信用電線が約 1/4、通信用電線以外で約 3/4 となっております。

3. 譲受対象会社の概要

対象会社の名称 三陽工業株式会社
事業内容 電線・ケーブルの製造、販売ならびに関連端末の加工（産業用機器用、通信用、輸送用、音響機器用電線）販売
設立年月日 昭和 53 年 3 月 6 日
本店所在地 新潟県小千谷市平沢 2-3-20
代表者 代表取締役社長 常木啓三
資本金 250 百万円（2005 年 12 月 12 日現在）
従業員数 73 名（他に子会社 70 名）
工場 小千谷工場、東小千谷工場
最近事業年度における業績

単位：百万円

科目	平成 16 年 3 月期	平成 17 年 3 月期
売上高	1,949	2,032
営業利益	18	41
当期利益	9	11

4. 株式譲受の前後における三井物産株式会社の所有株式数

	現在	譲受前①	譲受前② (三井物産株式会社増資引受による)	譲受後
所有株式数	400,000 株	500,000 株	1,100,000 株	0
発行済株式総数	500,000 株	500,000 株	1,100,000 株	1,100,000
所有割合	80%	100%	100%	0

5. 株式譲受の日程

平成 17 年 12 月 12 日 株式譲渡契約締結

平成 17 年 12 月 19 日予定 株式譲受日

6. 業績に与える影響

三陽工業株式会社の株式譲受による影響を含めた平成 18 年 3 月期以降の連結業績予想につきましては現在策定中でありますのでまとも次第お知らせいたします。

7. その他

12 月 6 日開示の組織図に一部誤り（監査室の統括）がございましたので訂正の上新組織表を添付致します。

以上

